

大滝ダムの現状について

国土交通省 近畿地方整備局

第1章 ダム計画の概要

～ 災害を忘れない ～

伊勢湾台風の被害状況



図1 伊勢湾台風による被害写真（昭和34年9月撮影）

左：400mにわたり決壊した国道169号（吉野町上市付近）

右：旧柴橋中学校は校舎も運動場も失った（吉野町宮滝付近）

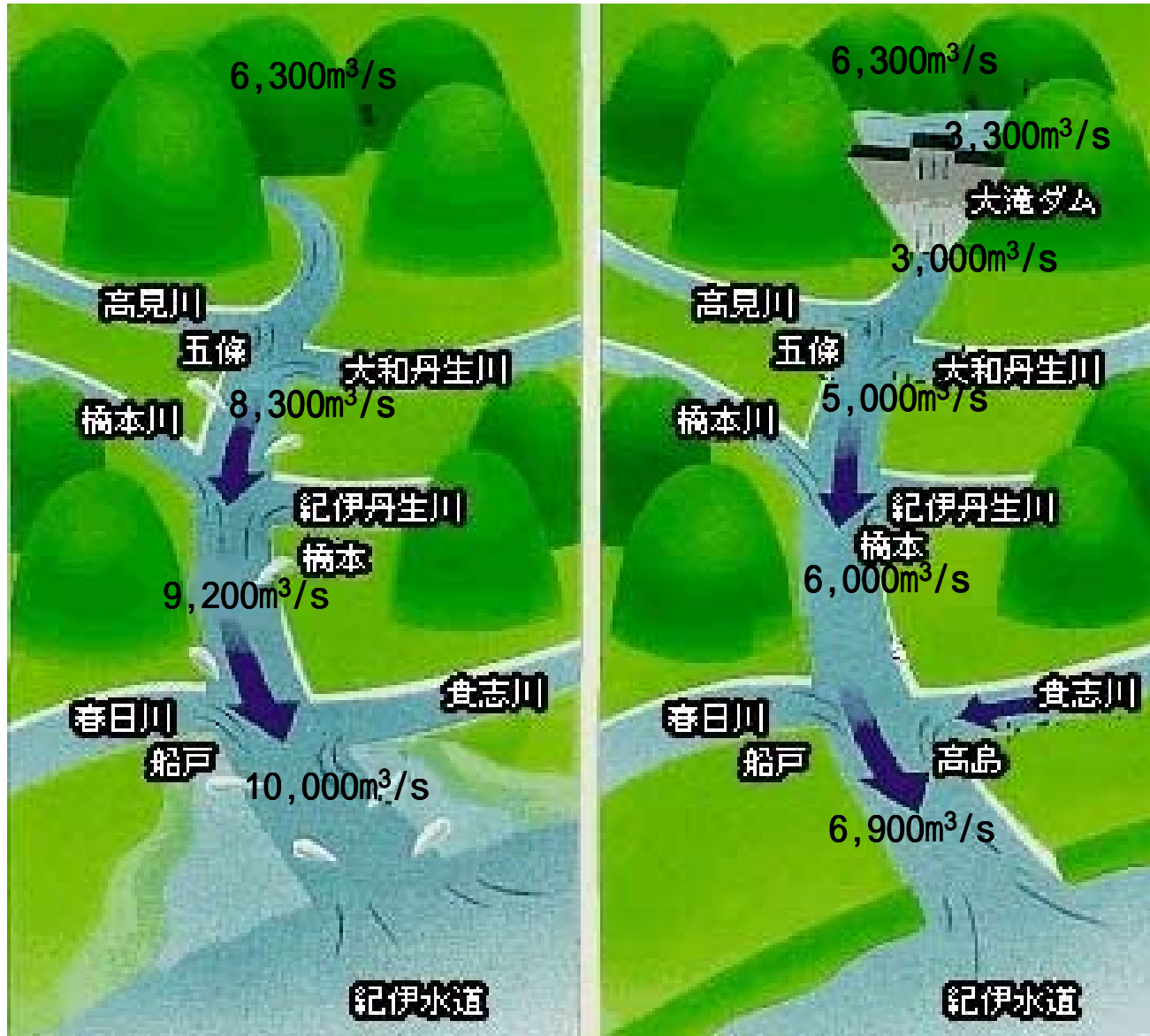
伊勢湾台風の被害を契機に、大滝ダム建設事業が計画されました。



図3 伊勢湾台風痕跡水位 吉野町立野

洪水の被害から人命と財産を守ること
それが紀の川の治水の緊急の課題です

大滝ダムの治水効果



昭和34年9月洪水
大滝ダムなし、上流氾濫なし

昭和34年9月洪水
大滝ダムあり、上流氾濫なし

図4 伊勢湾台風に対する大滝ダムの治水効果 その1



大滝ダムがない場合の水位
伊勢湾台風時の水位



大滝ダムがある場合の水位
伊勢湾台風相当の洪水の場合

図5 伊勢湾台風に対する大滝ダムの治水効果 その2 (吉野町立野)

～ 深刻な渇水問題 ～

吉野川の渇水状況

吉野川では近年でも平成2, 4, 6, 7, 8年と渇水が頻発し、生活にさまざまな影響を与えてきました。

特に平成6年には、給水制限51日、最大給水制限30%など、生活に大きな支障が起きました。

また、奈良盆地では、1人あたりの年間降水量は全国平均の1/5しかなく、**水資源の確保は重要**です。

表1 奈良盆地と全国の1人当たりの年間降水量の比較

	奈良盆地	全 国
面 積 (km ²)	837	377,837
年平均降水量 (mm)	1,355	1,714
人 口 (万人)	129	12,674
年間降水量 (千m ³ /人/年)	0.9	5.1

(人口は奈良盆地が2000年4月1日現在、全国が2000年3月1日現在)

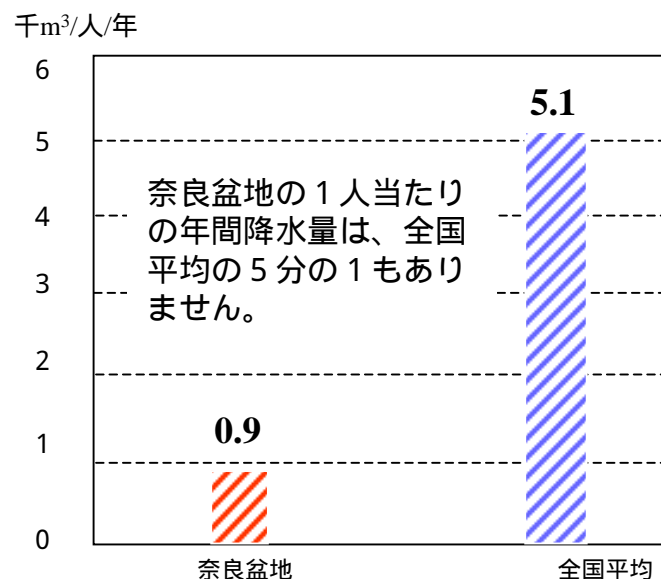


図6 奈良盆地の年間1人あたりの降水量

深刻な渇水を防ぎ、増大する水需要に対応するため、利水事業による広域的な、水資源の確保が急がれています